令和７年度　「志教育」全体計画

様式1

宮城県田尻さくら高等学校

校　訓

自律　進取　誠実

本校の教育目標

自主自律の精神の育成を目標として、学校内外のあらゆる生活場面を通じて豊かな個性の伸長につとめ、真理を探究し、自発的学習意欲を高め、社会で有用な人材の発掘に努める。

生徒の実態、教師の願い

・純朴で何事にも真面目に取り組む生徒が多い。
・コミュニケーション力と社会性を身に付けてほしい。
・一人一人が進路に目覚め，社会に飛び立とうという気持ちを持ってほしい。
・学校生活を通して最後までやり抜く力を付けてほしい。

保護者や地域の願い

本校へ寄せる保護者や地域の関心や期待は高く、教育活動に対する理解は深い。生徒一人一人が自律できるように協力を惜しまない。

「志教育」の目標

生徒一人ひとりが唯一無二の個性を発揮し、自己発見・自己実現するに至る能力を育てる指導・支援を行う。
（１）生徒の学力を最大限に伸ばし、一人ひとりの生徒が適性・能力・希望に応じた学習を深め，多様な進路目標を実現させるように努める。
（２）自己理解と進路研究により、将来の展望に立った進路計画と選択が果たせるよう体系的な指導を充実させる。

重点指導事項

人と「かかわる」	よりよい生き方を「もとめる」	社会での役割を「はたす」
校内外における各種行事や活動において、様々な人々との関わりをとおし、他人を思いやる心を養い、適切なコミュニケーション能力を身につけて集団生活を送れるようにする。	社会人によるキャリアセミナー・進路志望別見学会・インターンシップ等を通じて、自分の進路適性を発見させ、その実現に向けて真剣に考えさせる。また、探究的な視点や考え方を学ぶことで、柔軟な思考や他者と協働することの大切さに気づかせる。	探究活動を通じて社会や地域の課題に向き合い、解決に向かう取り組みを通じて社会での役割を担うための経験を積む機会とする。 また、地域との交流やボランティア活動に積極的に参加させ、社会の一員としての自覚を持たせる。

各教育活動における取組の観点

各教科	各教科における基礎知識や基本的な技術を身につけさせる。また、学習活動を含む諸活動を通じて、それらの知識や技術を社会生活において適切に利用する経験を積ませ、様々な課題の解決に向けた行動へ繋がることに気づかせる。
道徳	ホームルーム活動におけるコミュニケーション活動やストレス対処法に加え、日々の諸活動を通じて自己と向き合うことで自らを大切にするとともに他者を思いやり、適切な言語や行動によって社会活動に参画できる道徳的実践力を育成する。
総合的な探究の時間	特別活動における進路活動に、探究的な視点や手法を加えることで、育成したい資質や能力を段階的に養成する。また、各種進路行事の事後指導で振り返りと次の目標立てを含め、進路目標を少しずつ修正しながら目標達成を目指させる。また、段階的に社会における課題を意識させながら探究的な学びに触れ、探究サイクルを楽しむことができるようにする。
特別活動	自治会の一員としての自覚をもち、他者を尊重しながら各種行事やホームルーム活動へ積極的に参加することで、問題解決能力や集団の中での協調性や協働性を養う。
その他	社会人聴講生が受講する講座で行う対話的な学びを通じて、多世代の意見や考えに触れ、多角的な視点を養う。 また、探究学習の共通課題として防災学習を取り入れることで、課題を自分事にする経験と協働的な解決の必要性を学ぶ。

各学年の取組内容

１年次	①新入生オリエンテーション ②進路希望調査・進路の手引き ③進路別見学会 ④職業別セミナー・進路決定者の話を聞く 卒業生の話を聞く会・トライアルセミナー ⑤コミュニケーション・ストレス対処法 市民権教育・時間管理と生活リズム ⑥進路探究・自己理解・防災学習
２年次	①進路希望調査・進路ガイダンス・進路の手引き ②インターンシップ（希望者） ③ものづくり企業講話 ④職業別セミナー・進路決定者の話を聞く 卒業生の話を聞く会・トライアルセミナー ⑤コミュニケーション・ストレス対処法 市民権教育・時間管理と生活リズム ⑥自己理解・防災学習・進路探究・課題探究
３年次・４多年次	【今年度卒業予定者】 ①進路説明会・進路希望調査・進路の手引き ②求人票・履歴書、願書・エントリーシート等の指導 面接練習、作文・小論文指導・時間と予定の管理 ③各種セミナー・相談会・薬物乱用防止講話など ④進路決定者学習(ワークルール・ライフプラン等) ⑤コミュニケーション・ストレス対処法・市民権教育 ⑥自己理解・防災学習・課題探究 【次年度以降卒業予定者】 ①進路説明会・進路希望調査・進路の手引き 時間管理と進路計画 ②職業別セミナー・トライアルセミナー ③薬物乱用防止教室など ④コミュニケーション・ストレス対処法・市民権教育 ⑤自己理解・防災教育・進路探究・課題探究

家庭との連携

ＰＴＡ活動や学校評価・授業評価などの機会を通じて情報交換を図り、社会に貢献できる人材の育成に努める。

地域･企業との協働

地域ボランティア活動、社会人によるキャリアセミナー、企業によるセミナーや講話、インターンシップ等の体験機会を通てし、望ましい職業観や勤労観の育成を図る。